



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

五年生

十月 第④週



学習を始める前に

①必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具

②注意

- ・大事だと思われるところはノートに書いてください。
- ・このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後のお知らせを見てください。
- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。
- ・必要があるときは、ビデオを止めた
り、もう一度ビデオを見たりして
ください。



先週の宿題から

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

新しい漢字の復習。

(新出漢字、すでに習った漢字両方練習しましょう。)

2. 音読 新聞記事 「国内チョウで初めて絶滅か」を
読みましょう。

3. 絶滅ぜつめつしてしまった生き物、絶滅しそうな生き物に
ついて調べて書きましょう。

(思ったことや感じたことも書けるといいですね。)

ぜつめつきぐくしゅ

絶滅危惧種

絶滅のおそれがある種

ジャイアントパンダ、オランウータン、アジアゾウ、マウンテンゴリラなど動物園で私たちがよく見ている動物たちも、実は絶滅危惧種に指定されています。

敬語

1. パーティーの招待状をもらった。
2. パーティーの招待状をいただいた。

右の二つの文のうち、2は敬語を使った言い方です。敬語には、次のような言い方があります。

① 相手（聞き手や読み手）に対して敬意を表すときは、「です」「ます」「ございます」などていねいな言葉づかいをします。これらの言葉をていねい語といいます。

ぼくの責任だ。



ぼくの責任です。

塩分のとりすぎは、健康をそこなう。



塩分のとりすぎは、健康をそこないます。

そん

- ・これは。わたしが刷った案内状です。
- ・自分の利益ばかり考えてはいけません。
- ・その話は承知しています。
- ・わたしたち人間は、昔から土地を耕して生活してきました。
- ・台風で大木の幹が折れてしまいました。
- ・あの人は、小さな失敗など眼中にないのでしょう。

《新しい漢字 読みかえの漢字》

シヨウタイジヨウ

招待状

セキニン

責任

エン

塩分

ス

刷る

エキ

利益

シヨウ

承知

タガヤ

耕す

タイ

台風

ミギ

幹

ガン

眼中

② 相手や話題になっっている人をうやまう気持ちを表すときは、**尊**そん敬語を使います。

ア 特別な言葉を使った言い方。

- ・ する↓なさる
 - ・ 食べる、飲む↓めし上がる
 - 熱いうちにおめし上がりください。
 - ・ 言う↓おっしゃる
 - ・ 来る、行く、いる↓いらっしゃる
- お客さんが新幹線でいらしゃいます。

イ 「お(ご)ーになる」という言い方。

- ・ 校長先生がお話になります。
- ・ 市長が、工場をご訪問になる。

ウ 「ーれる(られる)」という言い方。

- ・ 先生は、もう帰られました。

エ 物事を表す言葉に「お」や「ご」を付けた言い方。

- ・ 留守↓お留守
 - ・ 便り↓お便り
- お便りをありがとうございます。

- ・ 説明↓ご説明
- ・ 意見↓ご意見
- ・ 祝い↓お祝い

ご卒業おめでとうございます。

お招きいただきありがとうございます。

《新しい漢字 読みかえの漢字》

新幹線

留守

便り

祝う

招く

③ 自分や身内の者の動作をけんそんして言うことによつて、その動作を受ける人への敬意を表すときは、けんじよう語を使います。

ア 特別な言葉を使った言い方。

・行く、たずねる、聞く↓うかがう

すぐにうかがいます。

・食べる、もらう↓いただく

近所のおじさんからお祝いをいただきました。

イ 「お（ご）ーする」という言い方。

・母がごあいさつします。

・私が大臣にご説明する。

日常生活で、どんな相手や場面るときに、敬語を使っていますか。考えたみましょう。



新しい漢字

書いて覚えましょう

招待状 シヨウタイジヨウ

招招招招招招招招招招

状状状状状状状状

責任 セキニン

責責責責責責責責責責

任任任任任任

新幹線 カン

幹幹幹幹幹幹幹幹幹幹

幹幹幹幹幹幹幹幹

利益 エキ

益益益益益益益益益益

承知 シヨウチ

承承承承承承承承承承

眼中 ガン

眼眼眼眼眼眼眼眼眼眼



新しい漢字

読み方をノートに書きましょう。

招待状

責任

新幹線

利益

承知

眼中



読みかえの漢字

読み方をノートに書きましよう。

留守

便り

塩分

招く

祝う

刷る

耕す

台風

幹



新しい漢字

答え合わせをしましょう。

招待状

しょうたいじょう

責任

せきにん

新幹線

しんかんせん

利益

りえき

承知

しょうち

眼中

がんちゆう

新しい漢字

答え合わせをしましょう。

留守

るす

便り

たより

塩分

えんぶん

招く

まねく

祝う

いわう

刷る

する

耕す

たがやす

台風

たいふう

幹

みき

問題をしましょう。

1. 次の説明にあてはまる敬語の種類を、後のア～ウから選びましょう。

(1) 話している相手や話題になっっている人を敬う気持ちを表すときに使う言葉。 () ()

(2) あまり親しくない人や大勢の人に対して、ていねいに話したり書いたりするときに使う言葉。 () ()

(3) 自分や自分に関係する人の動作をけんそんして言うことで、その動作を受ける人を敬う気持ちを表すときに使う言葉。 () ()

ア ていねい語

イ 尊敬語

ウ けんじよう語

2. 次の文の―線で使われている敬語の種類を、後のア～ウから選びましょう。同じ記号を二回使ってもかまいません。

(1) お客様からお菓子^{かし}をいただく。 () ()

(2) 校長先生がいすにお座り^{ざり}になる。 () ()

(3) 朝食にはパンを食^たべます。 () ()

(4) 先生が「本をよみなさい」とおっし^しやる。 () ()

(5) お客様に学校をご案内^{あんない}することになった。 () ()

ア ていねい語

イ 尊敬語

ウ けんじよう語



問題をしましょう。

1. 次の説明にあてはまる敬語の種類を、後のア～ウから選びましょう。

(1) 話している相手や話題になっっている人を敬う気持ちを表すときに使う言葉。 (イ)

(2) あまり親しくない人や大勢の人に対して、ていねいに話したり書いたりするときに使う言葉。 (ア)

(3) 自分や自分に関係する人の動作をけんそんして言うことで、その動作を受ける人を敬う気持ちを表すときに使う言葉。 (ウ)

ア ていねい語

イ 尊敬語

ウ けんじよう語

2. 次の文の―線で使われている敬語の種類を、後のア～ウから選びましょう。同じ記号を二回使ってもかまいません。

(1) お客様からお菓子^{かし}をいただく。 (ウ)

(2) 校長先生がいすにお座り^{ざり}になる。 (イ)

(3) 朝食にはパンを食^たべます。 (ア)

(4) 先生が「本をよみなさい」とおっしやる。 (イ)

(5) お客様に学校をご案内^{あんない}することになった。 (ウ)

ア ていねい語

イ 尊敬語

ウ けんじよう語



3. 次の文の中からていねい語を使っているものを選びましょう。
(1) 正面に見えるのが東京タワーです。

(2) 明日はサッカーの試合がある。

(3) 午後から雨がふるらしい。

(4) 夕飯にハンバーグを食べました。

() ()

4. ー線の言葉をていねい語にしましょう。

(1) 好きな食べ物はいちごだ。

(2) 祖父に手紙を書く。

(3) 友達とデパートの前で待ち合わせをしている。

(4) 富士山は日本で一番高い山だ。



3. 次の文の中からていねい語を使っているものを選びましょう。
(1) 正面に見えるのが東京タワーです。

(2) 明日はサッカーの試合がある。

(3) 午後から雨がふるらしい。

(4) 夕飯にハンバーグを食べました。

(1) (4)

4. ー線の言葉をていねい語にしましょう。

(1) 好きな食べ物はいちごだ。

好きな食べ物はいちごです。

(2) 祖父に手紙を書く。

祖父に手紙を書きます。

(3) 友達とデパートの前で待ち合わせをしている。

友達とデパートの前で待ち合わせをしています。

(4) 富士山は日本で一番高い山だ。

富士山は日本で一番高い山です。



5. 次の文の―線の言葉を尊敬語に直しましょう。あてはまる言葉
葉を から選びましょう。

(1) お客さんが来るそうだ。 ()

(2) 先生が花の手入れをするのを手伝った。 ()

(3) お客様が飲むお茶を用意した。 ()

なさる

いらっしゃる

めしあがる

6. 次の文の―線の言葉を「お（ご）―になる」という言い方に書き直しましょう。

例… 先生が本を読む。↓ 先生が本をお読みになる。

(1) 先生が母と話す。

(2) お客様が部屋に入る。

(3) 大臣は会議に出席する予定だ。
かいぎ

(4) 市長が、明日学校を訪問する。
ほうもん



5. 次の文の―線の言葉を尊敬語に直しましょう。あてはまる言葉
を から選びましょう。

(1) お客さんが来るそうだ。 (いらっしやる)

(2) 先生が花の手入れをするのを手伝った。 (なさる)

(3) お客様が飲むお茶を用意した。 (めしあがる)

なさる

いらっしやる

めしあがる

6. 次の文の―線の言葉を「お(ご)―になる」という言い方に
書き直しましょう。

例… 先生が本を読む。↓ 先生が本をお読みになる。

(1) 先生が母と話す。

お話になる。

(2) お客様が部屋に入る。

お入りになる。

(3) 大臣は会議に出席する予定だ。
かじぎ

ご出席になる

(4) 市長が、明日学校を訪問する。
ほうもん

ご訪問になる



7. 次の文の―線の言葉をけんじよう語に直しましょう。あてはまる言葉を から選びましょう。

(1) 姉が市長から賞状しょうじょうをもらう。 ()

(2) 先生の作品を見ることになった。 ()

(3) お客様に「こんにちは」と言う。 ()

申し上げるもうじ

いただく

拝見するはいけん

8. 次の文の―線の言葉を「お（ご）―する」という言い方に直しましょう。

(1) お客様を駅まで見送る。 ()

(2) 大臣げんきに現況を説明する。 ()

(3) 先生に話し合いの結果を報告する。 ()

(4) 午後一時に駅前で待つ。 ()

7. 次の文の―線の言葉をけんじょう語に直しましょう。あてはまる言葉を から選びましょう。

(1) 姉が市長から賞状しょうじょうをもらう。 () いただく

(2) 先生の作品を見ることになった。 () 拝見する

(3) お客様に「こんにちは」と言う。 () 申し上げる

申もうし上げる

いただく

拝見はいけんする

8. 次の文の―線の言葉を「お（ご）―する」という言い方に直しましょう。

(1) お客様を駅まで見送る。 () お見送りする

(2) 大臣げんきょうに現況を説明する。 () ご説明する

(3) 先生に話し合いの結果を報告する。 () ご報告する

(4) 午後一時に駅前で待つ。 () お待ちする

宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

今日の授業で書いた漢字の練習をしましょう。

2. 音読 「敬語」を読みましょう。

3. 敬語の学習 どちらが正しいですか。

①ア 父は来週学校にいらつしやると申してもういました。
イ 父は来週学校にうかがうと申していました。

②ア 先生に「今度、私の家にいらつしやってください」と
お願いした。
イ 先生に「今度、私の家にいらつしやってください」と
お願いになつた。

③ア お客様が、私のクラスの劇をらんご覧らになることになつた。
イ お客様が、私のクラスの劇をげき拝見はいけんすることになつた。



お知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ このビデオのスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から
ダウンロードや印刷ができます。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

五年生

年間学習表



身につけたい力

7月	6月	5月	4月		
		<p>新聞記事から 新聞記事の見出しの 違いについて考えた ことを発表しよう。</p>	<p>自分の意見を持つ 自分の意見を発表し よう。話し手の意図 を聞き取ろう。</p>	<p>話す／聞く</p>	
<p>こんな道があつたら 町の様子を観察し、 気が付いたことや 思ったことを書こう。</p>	<p>大陸は動く 前半と後半に分けて、 書いてあることを短 くまとめよう。</p>	<p>新聞記事から 新聞記事を短くまと めよう。(要約しよ う。)</p> <p>詩を楽しもう 見たり感じたりした ことをもとに、心の つぶやきを言葉にし よう。</p>	<p>やどかり探検隊 物語を読んで、感じ たことや考えたこと を書こう。</p> <p>記録しよう 心に残ったことを、 書留めよう。</p>	<p>書く</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、記 事に対する自分の意 見を書こう。</p>
<p>麦畑 情景を思いうかべな がら読もう。登場人 物の心情と情景が一 体のものでえがかれ ていることを読み取 ろう。</p>	<p>地図が見せる世界 筆者が最も言いたい ことは、どういうこ とだろう。</p> <p>大陸は動く 筆者はどんな考えで、 「大陸は動く」とい う題名をつけたのだ ろう。</p>	<p>詩を楽しもう 文語の詩を読もう。 「自分」の伝え方に ついて考えよう。</p>	<p>やどかり探検隊 主人公の気持ちかを考 え、自分と重ね合わ せて読もう。</p>	<p>読む</p>	<p>新聞記事 記事の内容を読み取 ろう。</p>
<p>仮名づかいの決まり 発音と違う書き方を する、言葉について 知ろう。</p>	<p>つなぎ言葉 つなぎ言葉の働きを 知り、つなぎ言葉を 使えるようになるう。</p>	<p>同じ音の漢字 同じ音を持つ漢字そ れぞれの意味と使い 方を知ろう。</p>		<p>言葉</p>	

12月	11月	10月	9月	8月	
<p>目的を考えた話し合おう 目的にそった、有意義な話し合いにするための方法を知ろう。</p>					話す／聞く
<p>わらぐつの中の神 自分の身近な物について、それがどういうものかが読む人にわかるように書こう。</p>	<p>調査したことをまとめて 調査したいことを決めて、調べたことを作文に書こう。</p>	<p>大造じいさんとガン 大造じいさんの気持ちの移り変わりをまとめよう。</p>	<p>身近な環境 身近な環境について調べ、わたしたちができることは何か書こう。</p>	<p>読書記録 読書記録の書き方を知り、自分の同署記録を書こう。 おみやげ 宇宙人の宿題 「宇宙人」「戦争」「現代文明」について思ったこと、考えたことを書こう。</p>	書く
<p>わらぐつの中の神様 おばあちゃんの思い出話と、その前後の現在の話を配した構成を理解しよう。</p>	<p>「その人」と出会って 筆者が手話を通して心を通わせた経験と、それにもとづいた感動を読み取ろう。</p>	<p>大造じいさんとガン 情景を思いうかべながら読もう。</p>	<p>一秒が一年をこわす わたしたちの周りで実際に起きている問題を考えよう。</p>	<p>おみやげ 宇宙人の宿題 宇宙人に目を向けた二つの作品を読み比べよう。</p>	読む
	<p>熟語を使って 熟語の読み方と意味を知ろう。</p>	<p>敬語 正しい敬語の使い方を知ろう。日常生活で使っている敬語をまとめよう。</p>	<p>漢語と和語 漢語と和語について知り、意味の違いを調べよう。</p>	<p>漢字のなりたち 今わたしたち使っている漢字が、どのように作られたのか知ろう。</p>	言葉

	3月	2月	1月	
	朗読をしよう 一年間 学習 した物語の中で、 一番好きな作品の 朗読をしよう。			話す／聞く
	月夜のみみずく 作品全体から感じ たこと、場面ごと の印象を書こう。	リレー物語を作ろう もらった物語の続 きを書こう。 推敲をしよう 書いた作文を、よ り良い文章になる ように推敲しよう。	言葉と気持ち 自分の気持ちや意 図を相手に伝える 短い文を書こう。	書く
	月夜のみみずく 「わたし」が「と うさん」と森に 入った初めての経 験、雪の森の中で 見た世界を想像し よう。	詩の広場 うれしいときや悲 しいとき、わたし たちの心は何を感 じ、目にはどんな 風景がうつってい るのか、考えよう。	言葉と気持ち 三つの事例を通し て、筆者は何を うったえようとし たのか考えよう。	読む
五年生の漢字 五年生で習った漢 字の復習をしよう。		言葉の組み立て 複合語の意味、ど んなふうにするの か考えよう。	漢字の読み方と使い 方 言葉によって読み 方が変わる漢字を 知り、正しく使え るようになるよう。	言葉